

2021 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松幼稚園

採択活動名

知床学（海洋教育）「地域の海を守るために私たちができること」
～きれいな海や資源を守るために～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 前浜遊び		知床学
2. きれいな海を守るための取組（ゴミ拾い、ゴミの分別等）		知床学
3. 羅臼昆布を知ろう		知床学

取り組みの概要

本園は、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含めた豊かな自然に囲まれた環境の下で教育活動を展開している。身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることができる幼児の育成を目指し、取組の充実を図った。

「前浜遊び」では、浜遊びをしながら海藻を拾ったり、石や流木で遊んだりすることで、海を遊び場として身近に感じることができた。また、複数回、前浜遊びをすることによって、四季折々の自然の豊かさを感じるとともに、流氷に直接ふれて遊ぶなど幼児が主体的に環境と関わり、充実感や満足感を味わっていた。

また、前浜遊びをする中で、幼児はゴミの漂着に気付いたことから、きれいな海を守るために主体的にゴミ拾いを行った。ゴミ拾いを行うことを通して、幼児はゴミに問題意識をもつようになり「なぜ拾っても拾ってもなくならないのか」、「ゴミはどこからくるのか」と疑問をもつことにつながった。その後、幼児はダイバーの方から話を聞き、海には家庭ゴミや漁具が多いこと、プラスチックは時間が経つと海底に沈むだけで、無くならないことや、ビニール袋はクラゲに似ていることから、魚や亀、海鳥が間違えて食べてしまうことがあることを学んだ。海の中のゴミにも着目したことで、海を守るためにプラスチックゴミの削減を意識し、「NO レジ袋」活動につながった。

「羅臼昆布について知ろう」では、地域の特産品である羅臼昆布について、昆布干しをしたり、昆布番屋を見学することを通して、羅臼昆布について学ぶとともに、羅臼昆布を使い、味噌汁ができるまでの過程を体験的に学ぶ活動を通して、地元の海で獲れる羅臼昆布への興味・関心を高めることができた。



【「前浜遊び」を行う幼児の様子】



【ゴミ拾いを行う幼児の様子】



【羅臼昆布について学ぶ幼児の様子】